

令和4年度事業計画

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

はじめに

令和4年度沖縄振興予算案は総額2,684億円と前年度当初比で326億円の大幅な減少となった。

特に、公共関係事業費においても1,261億円と前年度当初比159億円の減となり厳しい状況が予想されている。

新型コロナウイルス感染症の拡大による、観光産業の落ち込みをはじめとして多くの産業に多大な影響を与え休廃業や失業等、厳しい状況が続いている状況である。

その中で、建設産業においては、観光産業の回復に備え、道路整備や構造物の老朽化対策など、公共インフラ施設の整備を重点的に取り組んでいくことが求められている。

本部会においては「フォトコンテスト」や「献血キャンペーン」等の事業を更に推進し業界に対するイメージアップを図っていくこととする。

又、昨年、青年部会の創立30周年を迎える年であったが、新型コロナウイルス感染拡大により記念事業が延期となり、令和4年度の開催に向けて取り組んでいく必要がある。

そこで「事業委員会」「研修委員会」「広報委員会」の3委員会で事業活動を実施して、会員全体が事業内容を把握出来るような組織体制を作り会員がメリットを実感できるよう取り組むと同時に加入促進に努めていく必要がある。

このため、本部会の会員相互の「融和」と「結束」、「行動力」を持って、役員会、専門委員会を中心に、令和4年度は、以下の事業に積極的に取り組んでいくこととする。

事業計画

1. 協会の諸施策に対して積極的に協力対応する
2. 組織の拡充強化と会員の加入促進を積極的に推進する（令和4年度目標10名）
3. 関係発注機関や関係団体との意見交換会の実施する
4. 人材確保・育成に関する事業を実施する
5. 九州建設青年会議・県外視察研修会に関連する事業を実施する
6. 建設業の経営及び技術の研鑽のための講習会・講演会を開催する
7. 会員の資質の向上と相互に親睦を深めるための行事(懇親会等)を開催する
8. 業界のイメージアップ【フォトコンテスト】【献血キャンペーン】事業を実施する
9. 青年部会創立30周年記念事業の実施

上記事業の実施については、各委員会で分担して内容等を検討し、各委員会を随時開催し、役員会の承認を得て事業を実施する。